

平成27年度

森林土木工事の円滑な施工の確保 (土木)

平成27年5月

近畿中国森林管理局 森林整備部 森林整備課



国民の森林・国有林

近畿中国森林管理局



林業専用道作設指針



林業専用道の管理、規格・構造、施工等にかかる基本的事項を示すもの



平均傾斜30度程度以下の斜面に作設することを基本

- できるだけ地形に沿って計画



法面保護工は、原則実施しない。

- 切土・盛土は高さを極力抑える



土構造を原則

- 擁壁等は、簡易な構造物を主体とする



排水施設

- 波形勾配による分散排水を基本
- 簡易な資材による横断排水工を設置



国民の森林・国有林

近畿中国森林管理局



林業専用道作設指針の運用



国民の森林・国有林

近畿中国森林管理局



KINKI・CHUGOKU Regional Forest Office

運用にかかるポイント

- 丈夫で壊れにくい路網整備を行っていくために、地形・地質・地域特性など森林が持つ多様な条件に応じた道づくり



急傾斜地での安全面



路体の安定



地山の安定



走行の安全



国民の森林・国有林

近畿中国森林管理局



KINKI・CHUGOKU Regional Forest Office

規格・構造の整理

設計車両10トン積程度

- 車両制限令に定めた普通自動車

車道幅員3.0m

- 走行の安全性を確保

設計速度 時速15 km

- 地形に追随した線形



国民の森林・国有林

近畿中国森林管理局



規格・構造の整理

路肩の拡幅

- 高性能林業機械の作業時の安全性に配慮
- 必要に応じ0.5mまで拡幅

曲線部の取り扱い

- 現地の状況により効果的な構造物の設置
- 基本的に片勾配は設けない



規格・構造の整理

縦断勾配

- できる限り緩勾配とし基本砂利敷き

路面洗掘の防止対策

- コンクリート路面工、セメント・石灰による安定処理
- 横断排水工による路面流下水の軽減
- 両方の組み合わせによる防止

適切な流末処理

- 排水が地山・路体に影響がないように



規格・構造の整理

横断勾配

- 路面水の分散化を図り横断勾配は水平

法面保護

- 長い法面が連続する箇所などは侵食防止を検討

構造物の設置検討

- 土工量の調整及び安全性の向上
- 作業システムとの効果的な連携



林業専用道の施工管理上の留意点

- ① 適切な起工測量が施工管理の第一歩
地域特性なども加味した起工測量により設計図書と照合
また、起工測量結果を基にした設計変更の提案も可能
- ② 「林業に使える道」が目的物
地形の変化に対応、森林作業道の取り付け部や林業作業用施設
(土場施設など)の確保
- ③ 土構造のため、土質の変化に臨機に対応
想定した岩質・土質となっているか
切土法面勾配に留意
- ④ 分散排水が機能する施設の配置に留意
波形勾配での施工・横断排水工の位置等臨機に対応



※ 設計図面どおりに作設することにとらわれすぎないこと、現場地形に応じた柔軟な道づくりを行う



国民の森林・国有林

近畿中国森林管理局



積算にあたってのポイント

- ① 切土工・盛土工などについて
- ② 構造物について
- ③ 工事支障木の処理について
- ④ 諸経費率について
- ⑤ 標準工期について



国民の森林・国有林

近畿中国森林管理局

